



おしゃべり憲法学習会

「憲法に自衛隊を書き込むとどうなるの？」



憲法って何のため？

3月24日、パレット川西で、九条改憲NO！全国市民アクション川西実行委員会主催で、「憲法に自衛隊を書き込むと？」をテーマに、おしゃべり憲法学習会が開催されました。

会議室いっぱいの方々と、伊藤藤塾・伊藤真弁護士との動画「考えよう！自民党改憲4項目・憲法に自衛隊を書き込むとどうなる」を見ました。

その後、会場からの質問などを受け、木下智史関西大学教授・兵庫憲法会議代表幹事を交えておしゃべり。

2月行われた総選挙で、自民党高市政権が圧勝。単独で3分の2の議席獲得を受けて、高市首相が、憲法改正にむけての意見表明。防衛費をどんどん増やし、殺傷能力のある武器輸出の自由化にも前向き。その上、3月19日の日米首脳会談において「世界中に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけよ」とハグする姿が世

界に発信され、私たち国民の「アメリカの戦争に日本が巻き込まれるのではないか」という不安がいつきに高まりました。

イランの核開発に対する協議中に、アメリカとイスラエルがイランに先制攻撃を行ったことで、国際法や国連憲章違反という国際的世論が高まる中、アメリカ・イスラエルの無法な戦争に加担しないという国が増えていく中、日本国憲法九条を学ぶことがとても大切でタイムリーな学習会でした。

① 憲法は、たんぽぽだより 280号でも記載しましたが、第99条で、天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う。と記されているように、憲法は、権力者を縛るもの(権力者が誤って戦争に突き進んだ歴史から)であり、憲法前文でも九条でも永久に戦争を放棄することや軍隊を持たない、交戦権を認めない(恒久平和を希求)。としています。

② 九条はそのまま、自衛隊を書き込むだけと言いますが、後から書き足した方が優先されることになっていきますから、今の自衛隊の位置づけとしての必要最小限という制限が拡大することになります。また、恒久平和主義が揺らぎ、いくらでも自衛のためと拡大解釈が

進むこととなります。

自民党の歴代首相たちは、「アメリカからの派兵要求に対して、憲法九条を盾にして断固断れ。非核3原則を守れ」(田中角栄)、「外貨を稼げるとしても、兵器の輸出をしてはならない」(宮沢喜一)と、日本が行ってきた戦争(被害・加害の両方)に対して、制定した憲法であること、を明言してきました。(小泉元首相以前まで)

軍拡は戦争への道

憲法に自衛隊を書き込む案の中には、内閣総理大臣を最高指揮監督者とする実力組織として位置づける、とされています。今のウクライナやガザへの攻撃、イランへの攻撃をみても、戦争ははじまると中々終わられません。戦争を

か、考えていかなければなりません。

アメリカから要請されたホルムズ海峡への艦船配備に対して、憲法九条が盾になりました。無法な戦争に大切な自衛隊員を巻き込ませてはなりません。その九条は、変えてはなりません。莫大な防衛予算よりも、我が国は災害への備えとしての防災・減災予算を増やすこと、人口現象・少子化という増やすこと、国民一人ひとりを大切にする予算こそ増やすべきではないでしょうか。

憲法第25条の健康で文化的な生活、第13条の個人として尊重されること、幸福追求権、第26条の教育権、義務教育は無償とする、その通りの国を作っていきます。

国民力・市民力こそ大きな力

全国あちこちで湧き上がる平和への声や願い。スタンディングやパレード、SNS配信。自分ごととして気づき、表現の仕方でも活動が拡大しています。「国民力が大きな力になります。変えることができます。」木下先生の言葉から勇気と元気をもらって、もっとも

と、誰もが平和で豊かに生きることができるように取り組んでいきます。

一人ひとりの声が政治を変える 変えましょう！

多田グリーンハイツ自治会
自治会加入世帯の 83.4%が
意思表示

うち、集約するな！ 75.6%
(旧老人福祉センターに自治会館を集約するな)

今、進められている「川西市北部地域のまちづくり方針に基づく整備基本構想」。この間お伝えしているように、東谷中学校区では、病院跡地への市の公園や民間の高齢者・障がい者の福祉複合施設誘致。東谷幼稚園・北消防署跡地等には、民間保育所やこどもスペース、セオリアなどの整備が進んでいます。

多田グリーンハイツ(北消防署多田出張所)地域は、生涯学習・福祉ゾーンと位置づけられ、旧老人福祉センターに公民館・行政センター機能の集約化、3つの自治会館の集約化(A棟・B棟)、200名収容ホールを進めるとしていました。

しかし、整備方針そのものの内容が、当該住民に伝わっていなかったこと。集約されると現在活動している登録グループの6割が活動できなくなること、第1・3自治会館は

民間活用、第2は駐車場、現公民館(行政センター)は売却、旧松風幼稚園は、民間高齢者福祉棟にするなど、教育保育施設やこども・若者の居場所がないことが指摘されていました。

今回、改めて、自治会(4428世帯)役員20人が、方針通り集約するのか、現状のままで行くのか賛否を問うた処、現状維持でいくことが決定。その結果を受けて「現状維持の議案」に対して表決が取

られました。4428世帯の 83.4%が表決に参加。その内、議案通り「現状維持」が2793世帯(75.6%)、議案不承認が807世帯(21.7%)、無効票95と地域の方が報告してくださいました。

住民への情報がなく、結果ありきで進んでいたことを変える。しっかり情報を共有、住民が意見を述べ、熟議すべきというまちづくりの基本を大切にこどもも高齢者も障がい者も誰もが住みよい・活動しやすい地域作りを進める住民パワーに今後も期待します。

自治会館の集約(旧老人福祉センターへ)やめろ！ 8割超が意志表示



多田グリーンハイツ自治会
自治会加入世帯の 83.4%が
意思表示